



# 国立民族学博物館 友の会ニュース

MINPAKU ASSOCIATES NEWSLETTER

「国立民族学博物館友の会」は「みんぱく（国立民族学博物館）」の活動を支援し、博物館を楽しく、積極的に活用するためにつくられました。

No.244

2018.5 ▶ 6

発行日 2018年5月1日

編集・発行 一般財団法人千里文化財団

## 「国立民族学博物館友の会」事務局からのお知らせ 千里文化財団 新理事長就任

本年三月末に理事長を退任されました小山修三民博名誉教授に替わり、四月一日より中牧弘允民博名誉教授が理事長に就任いたしました。

理事長退任のご挨拶

小山修三



わたしは、本年三月三十一日をもちまして、千里文化財団の理事長を退任いたしました。五年にわたり、文化人類学・民族学の普及、国立民族学博物館（以下、民博）の支援を担う財団の理事長を務めることができたのも、友の会会員のみなさまをはじめ多くの方々の温かなご支援の賜物と、厚く御礼を申しあげます。

「国立民族学博物館友の会」は、諸民族の社会と文化を理解するために設立された民博をより多くのみなさまに活用していただくとともに、民博と文化人類学・民族学の振興へのご支援を願ひ発足いたしました。グローバル化が加速すると同時に自文化中心主義が広がりつつある現代、日常において異文化を尊敬し、互いに尊重しあいつき合っていく環境を整えることが必要になっていきます。あらためて民博とこの研究分野の存在意義が大きくなっており、民博を市民レベルで支える「友の会」活動がさらに重要になっていると感じています。

今春、四月から、地元の博物館館長としてもご活躍の民博名誉教授の中牧弘允先生に理事長をお受けいただきました。会員のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

新理事長就任のご挨拶

中牧弘允



千里文化財団は一九七七年の国立民族学博物館の開館にあわせ、財団法人民族学振興会の千里事務局として発足しました。民博の支援活動が主たる事業でしたが、千里という地の利を生かして、それ以外にもさまざまな文化・学術事業を支援・推進してきました。

他方、友の会の機関誌である『季刊民族学』は、その冒頭で梅棹忠夫民博初代館長が述べているように、「教養ある市民」であるところの「国立民族学博物館友の会」の会員に届けるメディアであることが力説されています。当財団のもうひとつの原点は、そうした市民サービスにあります。

わたしは民博の研究者として開館時から千里文化財団とさまざまなかわりを持ち、はかりしれない恩恵をこうむってきました。このたび小山修三氏のあとをうけて理事長に就任することになりましたが、恩がえしのつもりで誠心誠意つとめてまいります。

千里文化財団は民博をはじめとする各種研究機関や市民を中心とする知的活動と連携しながら、地域社会や国際社会につながっていくことをめざしています。わたしも微力ながら全力をあげて取り組んでまいりますので、ご協力ご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

『季刊民族学』バックナンバーを会員価格にてご提供しております。

世界の諸民族の社会と文化に関する情報をご提供する家庭学術雑誌『季刊民族学』。

お手元に届く『季刊民族学』巻末の払込取扱票をご利用のうえ、お求めください。

1冊：会員価格2,160円（税込） ※1～100号までは1冊1,000円（税込）です。全巻ともに送料当方負担。



【募集】第92回民族学研修の旅

## 融合と共存の北西インドをゆく ——女神信仰とインド叙事詩の祭礼の期間に訪ねる

講師：三尾 稔（民博教授）

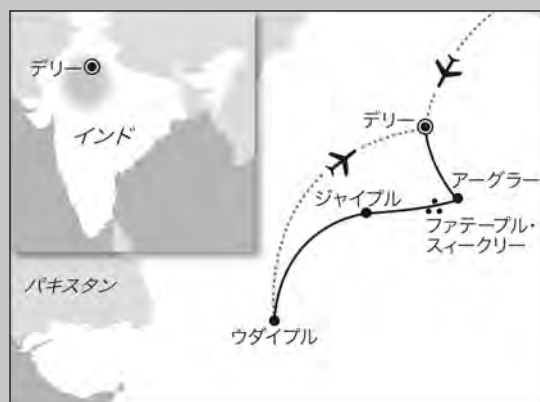
期間：2018年10月13日（土）～22日（月）【10日間】

申込締切日：2018年8月31日（金）

参加費：335,000円（他空港使用料等諸経費がかかります）

募集人数：25名（最少催行人数15名）〈先着順〉

※正会員、もしくは体験会員にご登録いただくことで、一般の方もご参加いただけます。



ドゥルガー女神像を囲む人びと。祭礼の翌日、女神像は湖に沈められる（提供・三尾稔）



野外劇ラーム・リーラー。ラーム王子の魔物退治を演ずる（提供・西遊旅行）



ラーナクブルのジャイナ教寺院。ジャイナ教は苦行・禁欲主義で知られる（提供・三尾稔）

多くの言語、多くの民族がひしめく国インド。日本の八倍もの面積をもつこの国では、自然環境も多様な一方、人びとの暮らしや価値観もさまざまです。なかでもインド北西部では、異民族の侵入とそこで生じた文化の融合の歴史が、人びとの多様な価値観を育みました。宗教も例外ではなく、四〇〇〇年の歴史のなかで培われたさまざまな信仰のあり方が、人びとの生活に根づいています。第九二回民族学研修の旅では、雨季明けに、九日間続くヒンドゥー教祭礼の期間にあわせて現地に赴き、史跡や宗教施設を訪ねながら、人びとの多様な価値観をさぐります。さまざまな宗教が共存し、国民の八割をヒンドゥー教徒が占めるこの国では、一年を通して大小数多くの祭礼が催されます。旅行はドゥルガー女神神話、インド叙事詩ラーマヤナを下敷きにしたふたつの祭礼の期間にあわせて行程を組みました。善と悪の戦いが共通のテーマで、同期間にも九日間続きます。これはかつて、祭りを催す雨季明けが、疫病の流行と農事サイクルの終わりの時期に当たっていたことに起因します。人びとは神々の強い力にあやかっ

病を追い払い、豊穣や戦勝を祈願しました。女神祭礼では九日間、いたるところで女神が祀られ、その翌日には女神を異界に返すために川や湖に女神像が沈められます。ラーマ祭礼では九日間、野外劇ラーム・リーラーが演じられ、その翌日にはラーマの勝利を祝って、魔物の巨大な人形が燃やされます。地域によって信仰対象は異なり、集落の規模や日によっても祭りの様子は変化します。女神祭礼では時代の変化のなかで、他地域でおこなわれていたダンスを奉納する行事が、この地域にも広まってきています。祭礼期間のただなかにあるインド北西部を移動しながら、多様な信仰のあり方の一端を見聞したいと思います。

滞在先では、各時代の権力者がのこした史跡を見学します。その建造物には時々の宗教観とともに、異民族間の長い交渉のなかで生じた文化の融合を見ることが出来ます。また各地で、ヒンドゥー教、イスラーム教、ジャイナ教、シーク教の寺院を訪ね、宗教の共存を実感します。手工芸の製作現場や現地ならではの食事も楽しみましょう。ぜひご参加ください。

※ 詳細は同封の募集要項（チラシ）をご参照ください。旅行のお問い合わせ・お申し込みは、友の会事務局もしくは西遊旅行まで！

### 旅の参考にご利用ください：みんなくの映像番組

◎旅行の訪問先を踏まえた番組です。

「ウダイプルの女神祭礼」

「ラージャスターン州メーワール地方の暮らしと信仰」

◎近隣地域の女神祭礼を紹介する番組です。

「バスニ・カラン村の女神祭礼」

「九日間の夜 — インド・グジャラートの女神祭礼  
ナヴァラートリー」

※みんなく館内ビデオテイクブースでご覧いただけます。

### インドを知るには宗教から！関連催しのご案内

同行講師の三尾先生が、東京と大阪でお話しします。

インド北西部の祭事暦を例に、開催時期とその意味付けを紐解きます。

## ヒンドゥー教祭礼の読み解き方

■東京

日時：6月23日（土）13:30～15:30  
会場：モンベル渋谷店5階サロン

■大阪

日時：7月7日（土）13:30～15:30  
会場：みんなく本館 第5セミナー室

※詳細は4頁をご覧ください。

# 「富士山——信仰の世界」

講師 師 秋道 智彌（山梨県立富士山世界遺産センター所長、民博名誉教授）

実施日 8月26日（日）、8月27日（月）

申込締切 7月20日（金）

二〇一三年、富士山は「富士山——信仰の対象と芸術の源泉」として世界遺産に登録されました。今回の体験セミナーでは、山梨県立富士山世界遺産センター所長の秋道智彌先生を同行講師に迎え、富士山信仰とその信仰を支える御師の文化にふれ、自然と人とのかわりについて考えます。ぜひ、ご参加ください。

古くより、富士山は噴火災害をもたらすことから人びとから恐れられ、山岳信仰の対象とされてきました。遠く離れた場所から仰ぎ見て拝む「遙拝」から始まり、一四世紀以降、一般にも富士山を信仰する富士道者があらわれ、極楽浄土への願いを込め「登拝」するようになりまし。この頃、彼らの信仰の案内や世話をす「御師」の文化もさかえます。一七世紀には、長谷川角行を開祖とする富士講がひろまり、

山腹や山麓の巡礼地をめぐる「巡拝」が始まりました。本セミナーでは山梨県立富士山世界遺産センターを出発点として、富士道者の裾野の場としての歴史をもった忍野八海や富士山を登拝する人びとの世話や祈禱をおこなった富士御師の住宅など、世界文化遺産富士山の構成資産をめぐります。今もなお多くの人びとを惹きつける富士山の魅力と富士山信仰の世界をさぐります。



①



②



③

- ①山中湖畔の展望場所から見た冬の富士山（撮影・秋道智彌）  
②忍野八海のひとつである5番霊場の湧池（撮影・秋道智彌）  
③御師住宅の外川家。構成資産のひとつ（提供・山梨県）

定 員：25名（申込先着順。最少催行人員20名）

参加費：38,000円（行程内の宿泊〔4名1室相部屋※1〕・食事〔朝・昼・夕食各1回※2〕・見学費用・移動費用・保険代含む）

- ※ 正会員、もしくは体験会員にご登録いただくことで、一般の方もご参加いただけます。  
※1 お部屋のご希望がある方はご相談ください。  
1名1室利用の場合は追加料金5,400円/人  
2名1室利用の場合は追加料金4,320円/人が必要  
ただし、お部屋に限りがあるため、ご希望に添えない場合がございます。  
※2 1日目の昼食は召しあがってからのご参加をお願いします。

スケジュール（予定）  
1日目（8月26日）  
集合 12時 JR三島駅  
山梨県立富士山世界遺産センター  
船津胎内樹型  
吉田の火祭り（国指定重要無形民俗文化財）  
※希望者のみ  
2日目（8月27日）  
御師町（旧外川家住宅）  
北口本宮富士浅間神社  
東円寺（忍野村）  
忍野八海  
解散 17時30分頃 JR三島駅  
【注意事項】  
胎内樹型の中は滑りやすいので、スニーカーなど歩きやすい靴でご参加ください。

## お問い合わせ・申込について

お電話にて友の会、阪急交通社までお問い合わせください。後日、お申し込み手続き書類一式をお送りします。友の会会員以外の方は、正会員、もしくは体験会員にご登録ください。詳しくは国立民族学博物館友の会までお問い合わせください。

### 研修企画

一般財団法人千里文化財団「国立民族学博物館友の会」係  
TEL：06-6877-8893 ※受付時間 平日 9：00～17：00

### 旅行企画・実施

株式会社阪急交通社 団体営業部大阪団体支店営業2課  
観光庁長官登録登録旅行業 第1847号  
TEL：06-4795-5928 ※営業時間 平日10：00～17：30

## 講師も執筆した参考書籍をお配りします！



世界遺産・未来の世界遺産シリーズ No. 7  
『信仰の対象と芸術の源泉  
世界遺産富士山の魅力をいかす（仮題）』

編著：五十嵐敬喜、岩槻邦男、西村幸夫、松浦晃一郎  
刊行：2018年6月上旬予定  
発行：ブックエンド  
仕様：A5判／160頁（うちカラー16頁）／並製

■第478回■

# カフィール・カラ遺跡と ゾロアスター教

発掘調査で出土した木彫り板絵から読み解く

講師…寺村裕史(民博准教授)

日時…6月2日(土) 13時30分～14時40分

会場…本館2階第5セミナー室

カフィール・カラ遺跡は、中央アジアのシルクロード都市サマルカンド(ウズベキスタン共和国)から南東方向に三〇キロメートルほど離れた場所に立地しています。遺跡から発掘された木彫り板絵には、獅子に乗った姿の女神ナナ、捧げものや燭台をもつ人、琵琶・竖琴・角笛の奏者などが彫り込まれています。女神ナナは、ゾロアスター教の中心的神であったと考えられており、本講演では板絵の図像について遺跡の性格と絡めながら紹介します。

※講演会終了後、三次元レーザースカナーを使った3D計測を実際におこないます(40分)。

■東京と大阪で開催します■

【第92回民族学研修の旅関連】

# ヒンドゥー教祭礼の 読み解き方

講師…三尾稔(民博教授)

ヒンドゥー教の祭礼は、さまざまな神話上の出来事が起こったとされる日に合わせ、その出来事を入びとが再現したり祝ったりすることを基本とします。また、祭礼のタイミングは、農業や商業をはじめとした生業のサイクルの節目にあたることも多く、その節目ごとの豊穡や繁栄への願いも込められています。講演ではインド北西部の一年の祭事暦を例とし、ひとつひとつの祭礼がなぜ、どんな思いを込めて挙行されるのか、読み解いてゆきます。

※講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます(40分)。

東京

## 第123回 東京講演会

日時：6月23日(土) 13時30分～14時40分

会場：モンベル渋谷店5F サロン(事前申込制)

・実施1週間前を目安に参加証をお送りします。  
・申込先着順。

大阪

## 第479回 友の会講演会

日時：7月7日(土) 13時30分～14時40分

会場：本館2階第5セミナー室

・当日先着順。

第92回民族学研修の旅は本年10月にインドを訪問します。詳細は2頁をご覧ください。

## 新しくオリジナルグッズができました！

ミュージアム・ショップで大人気のグッズ「あいさつスタンプ」「ありがとうスタンプ」のイラストレーター岡島礼子さんがEEM(日本万国博覧会世界民族資料調査収集团)の資料を描いたオリジナルグッズができました。イラストには展示資料が詰まっています。いくつ見つけられるかな？

お問い合わせは、みんぱくミュージアム・ショップまで。

パーカー 会員価格：3,694円(税込) ※サイズS,M,L

測量野帳 会員価格：450円(税込)



岡島礼子さんのイラスト

## イベントスケジュール

### ■開館40周年記念特別展「太陽の塔からみんぱくへ—70年万博収集資料」

開催中～5/29(火)

※毎週、土曜日にギャラリートークを開催

### ■企画展「アーミッシュ・キルトを訪ねて—そこに暮らし、そして世界に生きる人びと」

6/21(木)～9/18(火)

#### ●友の会講演会

5/5(土) 秋道智彌、6/2(土) 寺村裕史

#### ●みんぱくゼミナール

5/19(土) 菅瀬晶子、6/16(土) 山本泰則

#### ●みんぱくウィークエンド・サロン

5/6(日) 吉岡乾、5/13(日) 三島禎子、  
5/20(日) 新免光比呂、5/27(日) 卯田宗平、  
6/3(日) 出口正之、6/10(日) 森明子、  
6/24(日) 鈴木七美

#### ●その他の催し

5/20(日) 国際博物館の日記念事業

※先着順で記念品贈呈

6/9(土) みんぱく映画会「少女は自転車にのって」

6/17(日) 音楽の祭日2018 in みんぱく

#### 【館外での開催】

【東京】

#### ■シンポジウム

「デジタル写真データベースが拓く学術活動の未来—蓄積された画像資料をいかに活用するのか」

会場：一橋大学一橋講堂 中会議場

#### ■東京講演会

6/23(土) 三尾稔

◆都合によりスケジュールが変更になる場合があります。

◆イベントの参加には必ず会員証をご持参ください。

## 会員による会員のための学習機会 みんぱく友の会雑学サロン

5/19(土) ぶらぶら民族学

「西国街道—萱野三平邸跡他」

6/16(土) 早わかり パワーポイント活用術

日時：第3土曜日15:15～16:30

申込不要  
会場にて友の会会員証、フリーパスをご提示ください。

場所：5月 本館 第6セミナー室

6月 本館 第3セミナー室

問い合わせ先：田和、谷北、山本(実行委員)

zatsugakusalon@gmail.com

## ぼくのみんぱく日記

画・中川洋典



三月三十日(金)  
スペインノサ  
ンイシドロ聖  
堂ノ月曆図ノ  
動物ノ体ノ  
絵ヲス。豚ノ  
？牛ノカ？シ  
レトモ馬ノカ？

# 植物から博物学の世界を知る

## 東京大学総合研究博物館見学

講師…大場秀章（東京大学総合研究博物館特招研究員、東京大学名誉教授）

池田博（東京大学総合研究博物館准教授）

実施日…2月24日（土）

講義では、江戸の本草学が近代植物学へ移っていくまでの歩みをお話しいただきました。また、シーボルトが採集した標本や本草図譜など、江戸時代の資料を見せていただいたり、現代の標本の管理方法などを見学したりすることで、江戸時代から現代に続く植物学の世界のぞき見ることができました。

### 参加者の感想

最初は博物館学への興味から参加したのですが、参加していたみなさんの活気もあり、まったく知識のなかった植物学自体への興味も最終的に出てきました。（江戸千尋さん）

講義もとても興味深く歴史的な大きな流れを実感でき、とても楽しかったです。貴重な資料や作業などをオープンにして見せ、話してください、さらに興味がわきました。今まで知らなかった博物館を知れただけでなく、裏方のお仕事も見られたことがとても良かったです。科学だけでもなく、歴史や資料保存論、展示の新しいアプローチなど、とても刺激を受けました。（岩元睦子さん）

標本の研究は最先端の技術を駆使しておこなわれていると思いますが、植物採取と標本作りは地味で根気が必要だと感じました。標本作りと標本管理が研究を左右し、研究の行程の大半を占めるのではないかと思います。スタッフの方が採取されて送られてきた標本用の植物を虫、細菌、ウイルスやカビなどから守るためにおこなっている日々の管理システムには感心いたしました。（中略）

今回の研修はまるで別世界に出かけたようなくわくわくする楽しい催しでした。（猪股玲子さん）



池田博先生より、シーボルトの標本など江戸時代の標本を中心に解説してもらいました。

## 東京講演会 実施報告

■第121回■ 1月27日（土） 会場…モンベル御徒町店4Fサロン  
【北東アジア地域研究拠点関連】

## カザフの食と儀礼

### ひとの一生を彩る草原の恵み

藤本透子（民博准教授）

カザフスタンを中心にロシアや中国にも住むカザフは、テュルク系の民族で、大部分はスナ派のイスラーム教徒です。ユーラシア内奥の草原という自然環境のもとで、その食文化は牧畜と深く関わる一方、人生儀礼や信仰とも結びついています。

あいだでは日本料理としてスシが流行ったりもしています。しかし、冷たいスシは前菜や軽食あつかいでメインにはなりません。やはり温かい馬肉・羊肉料理が、都市部でも村落部でも、人生儀礼などの大切な日には欠かせません。牧畜や信仰と結びついた食文化を、改めて評価する動きも出ています。国外からの新たな食文化の流入や、健康志向の高まりなどの影響も受けながら、カザフの食が今後どのように展開していくのか注目されます。

とくに、都市を離れて広大な草原に点在する村々を訪ねると、ひとの一生の節目を彩る食が草原の恵みに満ちていることが感じられます。例えば、結婚の際には、ヒツジの肝臓と脂肪尾をゆでた特別な料理を歌とともにふるまい、姻戚関係を結びます。赤ちゃんが生まれると祖父父母がヒツジを贈り、羊肉のスープを飲むことで母親は母乳の出がよくなると言います。一方、葬儀や一年忌ではウマが屠られ、馬肉を数百人の弔問客にふるまった後に、死者のためにコーランを朗唱して祈ります。イスラーム化以前に遊牧民としてウマを副葬した習慣が、今では葬儀で馬肉を食べる習慣に変わったとも言われています。



天幕のなかで馬肉料理を食べる人びと

■第474回■2月3日(土)

「みんぱく名譽教授シリーズ」

## 日本文明の夜明け

梅棹忠夫と三内丸山遺跡

小山 修三 (民博名誉教授)

一九九四年、三内丸山遺跡から直径一メートルにも及ぶ六本の柱の遺構が見つかり新聞に報道され、全国的な注目を集めました。野球場の建設に先立つてその全体の面積が発掘され、遺跡からは大きな建物や倉庫群、住居址、道路、配石墓のほかに、ヒョウタンやウルシなどの栽培植物、遠距離交易によるヒスイや黒曜石などが出土して、それまでの縄文時代は小規模な狩猟採集社会だったという定説の再考が必要になったのです。

してみせたのです。日本の歴史を文明という一本の線で捉えればその黎明期が縄文時代に遡ると考えたわけです。三内丸山遺跡に関しては、専門家や文化人がさまざまな見解をだしていますが、この意見は、もつとも説得力があり、今も大きな影響を与えているのです。

梅棹さんに頼まれて三内丸山遺跡に同行したのは一九九五年でした。巨大なモニュメントの前で、これは神殿であり、その高い建物は弥生時代の吉野ヶ里遺跡の楼観、出雲大社の本殿につながる。神殿とは情報交換の場であり、それが人を呼び寄せて都市ができた、とそれまでの持論であった都市神殿論をここで敷衍



三内丸山遺跡を訪ねる梅棹忠夫 (撮影・佐藤史隆)

■第475回■3月3日(土)

「開館40周年記念企画展 アイヌ工芸品展」現れよ。森羅の生命  
木彫家 藤戸竹喜の世界」関連

## 藤戸竹喜の世界を深く知るために

齋藤 玲子 (民博准教授)

企画展「現れよ。森羅の生命——木彫家 藤戸竹喜の世界」をより深く知っていただくために、藤戸竹喜氏(以降、藤戸)の生い立ちから現在までを作品とともに紹介しました。

藤戸は一九三四年、道東の美幌町で生まれましたが、早くに母を亡くし、祖母藤戸タケに育てられました。父の竹夫は、旭川の近文で土産品として急成長した木彫り熊の彫り師で、藤戸は小学校にあがるころ、父とともに旭川で生活を始めました。「熊彫り」として観光地を渡り歩いた父に連れられ、転校を繰り返すうちに、小学校に行くよりも木彫りのほうが楽しいと思うようになり、一二歳で熊を彫り始めました。

二〇一四年にJR札幌駅西コンコースに設置された、北海道のおもてなし「イランカラッテ・キャメンペーン」のアイヌアートモニュメントでは、そのメイン像を制作するなど、いまや北海道を代表する木彫家となっています。

一五歳のときに阿寒湖畔の民芸品店で住み込みの職人となり、三度の夏を過ごした後、各地で木彫りの修行をし、三〇歳で阿寒湖畔に戻って民芸品店とアトリエを構えて独立しました。三〇代半ばまでは熊一筋に木彫りを極めました。阿寒湖畔の大地主であった前田一歩園の三代目園主・前田光子にそ



82-83歳で手掛けた連作「狼と少年の物語」と藤戸竹喜氏

お問い合わせ、お申し込みはこちら

友の会はいつでも、どなたでもご入会いただけます。

## 国立民族学博物館友の会

一般財団法人 千里文化財団

〒565-8511

大阪府吹田市千里万博公園10-1 (国立民族学博物館3階)

電話：06-6877-8893(平日9:00~17:00) FAX：06-6878-3716

e-mail：minpakutomo@senri-f.or.jp

https://www.senri-f.or.jp/minpaku\_associates/

2018年4月新設

## 「ミュージアム会員」でみんぱくを楽しもう！

博物館を繰り返し利用したい方、展示の背景やフィールドワークの情報を知りたい方におすすめです。(年会費5,000円)

- ・本館展示の無料観覧
- ・『月刊みんぱく』のお届け
- ・特別展の観覧料割引
- ・友の会講演会への参加 等

詳細は友の会ホームページをご覧ください。